

2025 年度車載組込みシステムフォーラム (ASIF) 総会・勉強会活動報告会・講演会 議事次第

2025 年 4 月 17 日 (木)

14:00~16:30 栄ガスビル5階 キングルーム

14:30~16:30 オンライン (Zoom Meeting)

I. 総会 14:00-14:30

1. 開会

2. 総会議案

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 第 1 号議案:2024 年度 事業報告 | (2025 総会資料 No.1) |
| 第 2 号議案:2024 年度 収支決算 | (2025 総会資料 No.2) |
| 第 3 号議案:役員を選任 | (2025 総会資料 No.3) |
| 第 4 号議案:2025 年度 事業計画 | (2025 総会資料 No.4) |
| 第 5 号議案:2025 年度 収支予算 | (2025 総会資料 No.5) |
| 第 6 号議案:会則(2026 年度年会費改定(案)について | (2025 総会資料 No.6) |

3. 閉会

II. 2024 年度勉強会・ETロボコンクラブ・九州活動報告、2024 年度勉強会概要案内 14:30-15:15

2024 年度・2025 年度副会長(勉強会担当)、各勉強会担当リーダー、ETロボコンクラブリーダー

- ・ 勉強会趣旨説明
- ・ 2024 年度勉強会・ET ロボコン活動内容・ASIF九州活動内容
- ・ 2025 年度勉強会概要案内

III. 特別講演 15:30-16:30

「CES2025 に見る、トヨタ「ウーブン・シティ」とホンダ新型 EV「ZERO」の目指すところ NVIDIA は AI にエージェント軸を投入」

株式会社インプレス執行役員 コンシューマメディア事業部 事業部長

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員、日本モータースポーツ記者会 会員、雑誌協会 会員

谷川 潔 氏

<講演要旨>

2025 年 1 月に米国ネバダ州ラスベガスで開催された世界最大の技術見本市「CES2025」。そこではトヨタからモビリティのテストコース「ウーブン・シティ」の概要が発表され、ホンダからは新型 EV「ZERO」のプロトタイプが世界初公開された。本講演では、この 2 つの発表を現地取材をもとに報告。AI 半導体で知られる NVIDIA の最新動向もお届けする。

<講師略歴>

20 代は大型コンピュータの SE として損害保険業務システムを開発。1995 年に IT 系出版社であるインプレスに転職。以後、パソコン誌「DOS/V POWER REPORT」編集長など経て、2008 年に「Car Watch」を創刊。現在は、コンシューマメディア事業全体を統括する。

以上

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）2024年度事業報告（案）

車載組込みシステムフォーラムにおいて、2024.4.1～2025.3.31 に実施した事業は次の通り。

1. コミュニティ作り・運営（会則第3条1号関連）

(1-1) 一般向けのウェブサイトの運営・保守

車載組込みシステムフォーラムのウェブサイト（<https://www.as-if.jp>）と会員向けメーリングリストを運営・保守した。ウェブサイトには、セミナーの様子等、活動状況を随時掲載した。

(1-2) 会員向けのウェブサイトの運営・保守

会員専用のページを作成し、セミナーで配布された資料のダウンロードを可能にした。また、会員情報管理システム及び勉強会等で使用するファイル共有システムを管理した。

(1-3) 会員サイトサーバー更改準備

老朽化した会員サイトサーバ(オンプレミス)の更改に向けた準備として、クラウドサービス切り替えまでに想定されるセキュリティリスクや外部からの攻撃に対処するため、既存のオンプレミス環境に対しサーバOS、会員サイト機能の最新化を実施した。

2. 調査・情報発信（会則第3条2号関連）

(2-1) 勉強会活動

車載ソフトウェア開発に必要な、基本的な知識や最先端技術の習得・スキル向上を目的とし、年間2ラウンド、全12テーマを会員限定で開催した。

【第1ラウンド】（2024年6月～8月開催）

テーマ名	リーダー企業	形式	開催回数	開催時間	開催形態または開催場所・人数
CAN/CAN FD 通信仕様	(株)アイシン	レクチャー形式	2回	15:00～17:00	オンライン ・374名
アジャイル開発（スクラム）	(株)デンソー	輪講形式	4回	18:30～20:00	(株)デンソー名古屋オフィス ・10名
車載開発プロセス（Automotive SPICE v3.1 を活用したシステムエンジニアリング領域におけるプロセス改善）	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)	レクチャー形式	3回	16:30～18:30	オンライン ・15名
Python を用いたディープラーニング	(株)クレスコ	レクチャー形式	4回	18:00～20:00	オンライン ・23名
クラウドで動かす AI	(株)クレスコ	レクチャー形式・	4回	18:00～	オンライン

(生成AI)		演習形式		20:00	・23名
OSSとSBOM活用	(株)東海理化	輪講形式	3回	15:30～ 17:00	オンライン ・11名

【第2ラウンド】(2024年11月～2025年2月開催)

テーマ名	リーダー企業	形式	開催回数	開催時間	開催形態・人数
MISRA-C 2012	アイシン・ソフトウェア(株)	レクチャー形式	4回	16:00～ 17:30	オンライン ・24名
モデルベース開発 (MATLAB)	(株)ヴィッツ	レクチャー形式・ 習形式	3回	18:00～ 20:00	オンライン ・14名
クラシック AUTOSAR	(株)豊田自動織機	レクチャー形式	3回	18:00～ 19:30	オンライン ・23名
車載セキュリティに おける脆弱性分析	(株)デンソー	レクチャー形式	1回	14:00～ 17:00	オンライン ・27名
ラズベリーパイで動かすエッジAI	(株)クレスコ	レクチャー形式	4回	18:00～ 20:00	オンライン ・12名
コンテナ技術入門 (Docker)	(株)クレスコ	レクチャー形式・ 演習形式	3回	16:00～ 17:30	オンライン ・13名

3. セミナー企画・開催(会則第3条3号関連)

(3-1) スキルアップセミナーの開催

スキルアップセミナー(車載ソフトウェア開発初級技術者向け)を5回開催した。

第1回	2024年5月15日(水) 会場(栄ガスビル5F キングルーム) 参加者105名(内 非会員0名) テーマ インタフェース3月号を使用したCAN通信徹底解説と生成AIを使用したCAN通信エキスパートのChatBotデモ (会員会社には1社1冊 インターフェース3月号を会場で配布しました) 「Interface誌でCAN徹底解説を企画した背景」 講師:CQ出版(株) Interface編集部 山口 光樹氏 第一部「車載ネットワークの基本であるCAN規格徹底解説」 講師:(株)ネットワークマスタ 藤澤 行雄氏 第二部「生成AIを使用したCAN規格学習事例のデモ」 講師:(株)ネットワークマスタ 藤澤 行雄氏	13:45～16:30
第2回	2024年6月20日(木) 会場(栄ガスビル5F キングルーム) 参加者46名(内 非会員0名) テーマ「「未来の車を守る!SDV時代に対応するMacSecとSBOMで強化するサイバーセキュ	14:00～16:15

	<p>リテイ戦略」 「SDV 実現のための MacSec 技術の概要と Ethernet TSN 【リモート講演】 講師：名古屋工業大学 大学院 工学研究科 情報工学専攻 教授 伊藤 嘉浩 氏 「SBOM で強化するサイバーセキュリティ戦略」 講師：デロイト トーマツ サイバー(合) 片山 泰輔 氏</p>
第3回	<p>2024年7月29日(月) 14:00~16:15 会場 (栄ガスビル5F キングルーム) /オンライン 参加者 会場29名 ワライン130名 (内 非会員0名) テーマ「車載ソフトウェアの未来を切り開く生成AI」 「生成AIを展望する ~生成AIの過去・現在・未来~」 講師：兵庫県立大学 名誉教授/特任教授 (人工知能研究教育センター顧問) 松井 伸之 氏 「生成AIが切り拓くシステム開発の未来」 講師：(株) クレスコ テクノロジーソリューションコンサルティング テクニカルエバンジェリスト 井上 祐寛 氏</p>
第4回	<p>2024年9月12日(木) 14:00~16:15 会場 (栄ガスビル5F キングルーム) 参加者 会場86名 (内 非会員1名) テーマ 「次世代E/Eアーキテクチャのキーテクノロジー「車載Ethernet」」 「車載Ethernet基礎」 講師：名古屋工業大学 未来通信研究センター 研究員 中尾 裕一 氏 「車載Ethernetの業界動向とJASPARの次世代高速LANへの取組み」 講師：(一社) JASPAR 次世代高速LAN WG 主査/トヨタ自動車(株) 電子プラットフォーム開発部 車両制御ネットワーク開発室 グループ長 後藤 英樹 氏</p>
第5回	<p>2025年2月13日(木) 14:00~16:15 会場 (栄ガスビル5F キングルーム) 参加者 会場57名 (内 非会員0名) テーマ 「車載シミュレーション技術の最前線」 「仮想空間シミュレーションDIVPによる自動運転の安全性評価」 講師： 神奈川工科大学 研究推進機構 先進自動車研究所 所長/特任教授 井上 秀雄 氏 テーマ 「ECUの仮想化による車載ソフトウェア開発の効率化」 講師：イータス(株) ソフトウェア開発ツール事業部 部長 高 大成 氏</p>

(3-2) 応用技術セミナーの開催

応用技術セミナー(上級技術者向け)を1回実施した。

第1回	<p>2025年1月16日(木) 13:00~16:45 ルネサスエレクトロニクス(株) 那珂工場 (茨城県ひたちなか市) 参加者36名 (内 非会員0名) テーマ 半導体の新トレンドと言われているチップレット技術の最新動向についてのセミナーと、ルネサスエレクトロニクス(株)の半導体製造工場(前工程)の見学会を開催しました。 「先端チップレットの開発動向とアカデミアの役割」 講師：横浜国立大学 工学研究院 准教授 井上史大 氏</p>
-----	---

<p>「先端 SoC チップレットの技術動向とルネサスの取り組みについて I」 講師：ルネサスエレクトロニクス (株) ハイパフォーマンスコンピューティングプロダクトグループ HPC マーケティング統括部 技師長 原博 隆 氏</p> <p>「LSI 製造工程の概要」 講師：講師：ルネサスエレクトロニクス (株) ハイパフォーマンスコンピューティングプロダクトグループ HPC マーケティング統括部 技師長 原博 隆 氏 ルネサスエレクトロニクス株式会社の半導体工場 (前工程) の見学</p>
--

(3-3) PR セミナーの開催

本年度実施した PR セミナーはなし。

(3-4) 車載組込みシステムフォーラム 2025

2025 年 1 月 28 日 (火) 10:00~16:40

開催形態：会場(ナディアパーク 3F デザインホール)

参加者： 121 名 (内 非会員 60 名)

主催： 車載組込みシステムフォーラム

共催： 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所

後援： (一社) 組込みシステム技術協会 中部支部

組込みシステム産業振興機構

NPO 法人 TOPPERS プロジェクト

(公社) 自動車技術会

講演タイトル	講師
「車載組込みシステムの開発の現状と ASIF の活動」	車載組込みシステムフォーラム会長 名古屋大学大学院 高田 広章 氏
「スピントロニクス省電力半導体によるゲームチェンジとカーボンニュートラルへの貢献」	東北大学 国際集積エレクトロニクス研究 開発センター長 教授 /同大 工学研究科 教授/同大 電気通信 研究所 教授 遠藤哲郎 氏
「自動車ソフトウェアのモデルベース開発」	マツダ(株) 統合制御システム開発本部 統括研究長 末富 隆雅 氏
「SDV 時代におけるクラウドのお役立ち」	Amazon Web Services, Inc. Principal Solutions Architect 梶本 一夫 氏
「生成 AI と完全自動運転」	チューリング(株) 取締役/共同創業者 青木 俊介 氏

終了後、交流会を実施した。

4 若手技術者の育成 (会則第 3 条 4 号関連)

(4-1) 若手技術者を集めた会を開催し、技術力の向上を図る

ET ロボコンクラブの活動を支援した。

具体的な活動内容、時間、場所等については参加者にて決定した。

【勉強会】

開催回数	開催時間	開催形態
24回※月2回 第2,4土曜 ※大会前は追加開催あり	13:00~17:00	集合（コミュニケーションが重要なため、オンライン参加は事前リーダー承認要）

【ET ロボコン 2024】

ET ロボコン 2024 アドバンストクラスに4回目の出場（リアル大会では3回目）。今年はノーマルコースに加え難所コースまで走行できたが時間切れとなりポイントを獲得できず。東海地区での成績は7位(7チーム中)という結果だった。

【参加人数】

9名

5 その他必要な事業（会則第3条5号関連）

(5-1) 総会后特別講演

開催日： 2024年4月18日（木） 14:00~16:30
開催形態：会場・オンライン（栄ガスビル5F ガスホール/Zoom）
主催： 車載組込みシステムフォーラム

【特別講演】

「標準化視点での車載組み込みソフトウェアの動向」
株式会社デンソー 後藤 正博 氏

終了後、交流会を実施した。

(5-2) PR 活動（他団体主催展示会等への出展、講演等）

以下の他団体主催事業で講演した。
■第13回全国組込み産業フォーラム
開催日:2024年11月22日(金)
開催形態:会場:JAM BASE(グラングリーン大阪)
演題:車載組込みシステムフォーラム(ASIF)の概要紹介
講演者:車載組込みシステムフォーラム 幹事
萩原エレクトロニクス(株) 谷川 智行 氏

(5-3) 他団体主催事業との共催、後援等

以下の他団体主催事業を後援した。
■ソフトウェア・デファインド・ビークル・サミット 2024
主 催：株式会社インプレス

後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2024年7月2日（水）
開催形態：会場

■第26回 組込みシステム技術に関するサマーワークショップ (SWEST26)
主 催：組込みシステム技術に関するサマーワークショップ 実行委員会
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2024年8月29日（木）～30日（金）
開催形態：会場（下呂温泉 水明館）・オンライン

■オートモーティブソフトウェアエキスポ
主 催：(株)インプレス
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2024年11月20日（水）～22日（金）
開催形態：パシフィコ横浜 (EdgeTech+2024 内)

■第12回自動車機能安全カンファレンス 2024 オンライン
主 催：(株)インプレス
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2024年12月4日（水）～6日（金）
開催形態：オンライン

■第10回オートモーティブ・ソフトウェア・フロンティア 2025 オンライン
主 催：(株)インプレス
後 援：車載組込みシステムフォーラム 他
開催日：2025年2月18日（火）～20日（木）
開催形態：オンライン

(5-4) 講座開発SIG

MBD 推進センターの MBD 普及推進委員会で検討を進められている教育の全国展開と連携した活動を想定していたが具体的な連携依頼が無かったため、本年度の活動は待機のまま終了。

車載組込みシステムフォーラム 2024年度収支決算【見込み】(案)

(期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算(a)	実績(b)	差額(b-a)	備考
1. 入会金・会費	5,692,500	5,791,500	99,000	
(1)入会金収入	121,000	225,500	104,500	4団体×55千円、1個人
(2)会費収入	5,571,500	5,566,000	▲ 5,500	100団体×55千円、12個人×5.5千円
2. 事業収入	45,000	98,500	53,500	
(1)セミナー等収入	45,000	98,500	53,500	スキルアップセミナー：非会員分 応用技術セミナー：非会員分 ASIFフォーラム：非会員分
(2)その他収入	0	0	0	
3. その他収入	0	5,499	5,499	
(1)その他収入	0	5,499	5,499	銀行預金利息
当期収入額計 (A)	5,737,500	5,895,499	157,999	
前期繰越収支差額	5,958,252	5,958,252	0	
収入合計 (B)	11,695,752	11,853,751	157,999	

支出の部

科目	予算(a)	実績(b)	差額(a-b)	備考
1. 事業費	3,290,000	2,412,706	877,294	
(1)コミュニティ・運営事業費	300,000	249,230	50,770	Webサイト更新管理費等
(2)調査・情報発信事業費	400,000	6,980	393,020	勉強会活動費
(3)セミナー企画・開催事業費	2,220,000	1,988,004	231,996	セミナー・フォーラム会場費、講師費、オンライン会議費等
(4)若手教育事業費	220,000	168,492	51,508	ETロボコン 機材購入、大会参加費、運搬料、会場費
(5)その他事業費	150,000	0	150,000	第13回全国組込み産業フォーラム講師費等
2. 管理費	3,988,750	3,894,151	94,599	
(1)事務委託費	2,868,750	2,945,000	▲ 76,250	当期収入の50%
(2)会議費	120,000	62,560	57,440	交流会への講師・事務局参加費等
(3)通信費	20,000	11,510	8,490	会員への郵送等
(4)印刷費	10,000	0	10,000	チラシ印刷
(5)その他費用	700,000	700,000	0	振込手数料、事務局消費税(見込み)等
(6)Web管理運営費	50,000	27,391	22,609	サーバー維持管理費
(7)総会	220,000	147,690	72,310	会場費、特別講演講師費用
当期支出額計 (C)	7,278,750	6,306,857	971,893	
当期収支差額 (A) - (C)	-	▲ 411,358	-	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	-	5,546,894	-	次年度繰越

会計監査の結果、正確であることを確認し、これを承認しました。

2025年 6月 日

監事

監事

2025 年度車載組込みシステムフォーラム
役員候補者名簿（案）

会長

名古屋大学 大学院情報学研究科 教授 高田 広章

副会長

(株)デンソークリエイト イオタ推進部 シニアマネージャ 北村 長 新任

(株)RYODEN デバイスシステム事業本部 技術統括部 第一技術部 第三技術グループ 松村 保明 新任

幹事

(株)アイシン 製品開発センター電子開発本部 ソフトウェア基盤技術部 間瀬 順一
主席技術員

アイシン・ソフトウェア(株) 取締役 加藤 亮吾 新任

(株)アドヴィックス 制御・ソフト開発部 部長 加藤 和広

(株)ヴィッツ ソフトウェア開発事業領域 執行役員 服部 孝治

(株)サニー技研 取締役 ビジネス開発部 部長 乾 正樹 新任

(株)デンソー 電子PFソフトウェア技術部 製品企画室 室長 中垣 良夫

東海エレクトロニクス(株) 上席執行役員 技術本部 副本部長 檜木 省蔵

(株)東海理化 エレクトロニクスビジネスセンター
設計基盤技術室 グループ長 廣瀬 文人 新任

トヨタ自動車(株) 車両デジタル開発部 制御デジタル改革室 主査 城戸 正利

(株)豊田自動織機 技術統括センター EC開発部 部長 犬塚 浩之 新任

ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
コンサルティング事業部 シニア・コンサルタント 中武 俊典

(株)ピーネックスソリューションズ執行役員 技術本部 本部長 市川 誠 新任

(株)豆蔵 エンジニアリングソリューション事業部
技術コンサルティング部 主幹コンサルタント 稲垣 修

ルネサスエレクトロニクス(株) ソフトウェア&デジタルライゼーショングル
ープ HPCソフトウェアソリューション統括部 ソフトウェアスタック

開発部 第四課 シニアプリンシパルソフトウェアエンジニア 大橋 太一

監事

(株)クレスコ テクノロジーソリューションコンサルティング
テクニカルエバンジェリスト 井上 祐寛 新任

萩原エレクトロニクス(株) エンジニアリングソリューション本部
プロフェッショナル 平山 泰司 新任

事務局長

(公財)中部科学技術センター イノベーション創出支援室 室長 折井 敬

以上

車載組込みシステムフォーラム 2025年度 事業計画 (案)

車載組込みシステムフォーラム(以下、ASIF)において、2025年度(2025年4月18日～2026年3月31日)に実施を計画している事業は次の通り。

1. コミュニティ作り・運営 (会則第3条1号関連)

(1-1) 一般向けのウェブサイトの運営・保守

本フォーラム活動において、オープン情報として公開可能な情報は、本フォーラムのWEBサイトを通じて情報を発信する。また、このサイトの運営・保守を行なう。

(1-2) 会員向けのウェブサイトの運営・保守

会員の活動において開発成果物の管理サイトを運営および保守を行なう。

(1-3) 会員サイトサーバー更改準備

円滑で持続した会員サービス、外部発信を維持するため、これまでオンプレミスでサービスしていた機能をクラウドサービスに移行し、会員サイトの運営、保守を行う。

2. 調査・情報発信 (会則第3条2号関連)

(2-1) 勉強会活動

(ASIF 中部)

年間2ラウンド (第1ラウンド (6・7・8月) 第2ラウンド (11・12・1月)) 実施する。

【開催テーマ及びリーダー企業 (順不同)】全10テーマ

開催テーマ	リーダー企業
CAN/CAN FD 通信仕様	(株)アイシン
車載開発プロセス (Automotive SPICE～システムエンジニアリング～)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
Python を用いたディープラーニング	(株)クレスコ
クラウドで動かすAI (生成AI)	(株)クレスコ
MISRA-C 2012	アイシンソフトウェア(株)
モデルベース開発 (MATLAB)	(株)ヴィッツ
車載開発プロセス (Automotive SPICE～ソフトウェアエンジニアリング～)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
車載開発プロセス (Automotive SPICE～サイバーセキュリティ～)	ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)
クラシック AUTOSAR	(株)豊田自動織機
コンテナ技術入門 (Docker)	(株)クレスコ

3. セミナー企画・開催（会則第3条3号関連）

(3-1) スキルアップセミナーの開催

車載開発初級技術者向けの自動車技術の基礎知識に関するセミナーを企画・運営する。

(3-2) 応用技術セミナーの開催

車載開発上級技術者向けに最新技術や、欧州など海外動向に関するセミナーおよび他業界技術等に関する教育セミナーを企画・運営する。

(3-3) PR セミナーの開催

会員が企画するプロモーションセミナーを開催し、会員間の交流や情報提供の場を設ける。

(3-4) フォーラムの開催

2025年1月に開催した車載組込みシステムフォーラム2025と同様に車載開発の中心である中部地域の利点を活かした最新技術や業界最新動向の内容でフォーラムを開催する。

4. 若手技術者の育成（会則第3条4号関連）

(4-1) 若手技術者を集めた会を開催し、技術力の向上を図る

ET ロボコンクラブを支援する。

以下の内容で活動予定

具体的な活動内容、時間、場所等については参加者にて決定する。

【勉強会】

開催回数	開催時間	開催形態
24回 ※月2回 第2,4土曜 ※大会前は追加開催あり	13:00~17:00	集合（コミュニケーションが重要なため、オンライン参加は事前リーダー承認要）

【ET ロボコン 2024】

ET ロボコン 2025 の東海地区大会のプライマリクラスへ出場し、完走と確実なポイント取得を目標とする。

5. その他必要な事業（会則第3条5号関連）

(5-1) 総会後の特別講演

総会開催後、特別講演を実施する。

(5-2) PR 活動（他団体主催展示会への出展、講演）

必要に応じ実施する。

(5-3) 他団体主催事業との共催、後援等

必要に応じ実施する。

車載組込みシステムフォーラム 2025年度収支予算(案)

(期間：2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	2024年度実績(A)	2025年度予算(B)	増減(B-A)	備考
1. 入会金・会費	5,692,500	5,687,000	▲ 5,500	
(1) 入会金収入	121,000	121,000	0	2社×55千円, 2個人×5.5千円
(2) 会費収入	5,571,500	5,566,000	▲ 5,500	100団体×55千円, 12個人×5.5千円
2. 事業収入	45,000	51,000	6,000	
(1) セミナー、フォーラム 参加費収入	45,000	51,000	6,000	スキルアップ, 応用技術セミナー：非会員 12名×3千円 ※6回分 ASIFフォーラム2026：非会員2名×5千円, 優待非会員 2名×2.5千円
(2) その他収入	0	0	0	
3. その他収入	0	0	0	
(1) その他収入	0	0	0	
当期収入額計(A)	5,737,500	5,738,000	500	
前期繰越収支差額	5,958,252	5,546,894	▲ 411,358	24年度より繰越
収入合計(B)	11,695,752	11,284,894	▲ 410,858	

支出の部

科目	2024年度実績(A)	2025年度予算(B)	増減(B-A)	備考
1. 事業費	3,290,000	3,190,000	▲ 100,000	
(1) コミュニティ・運営事業費	300,000	300,000	0	webサイト更新管理費等
(2) 調査・情報発信事業費	400,000	400,000	0	勉強会活動費、勉強会会場費等
(3) セミナー企画・開催事業費	2,220,000	2,120,000	▲ 100,000	・スキルアップ, 応用技術セミナー 計5回 分(会場@120千円×5回, 講師@40千円× 15名) ・ASIFフォーラム2026(会場@310千円、 講師@60千円×4名) ・オンライン会議費(Zoom@25千円×2 回) ・ハイブリッド技術料(@100千円×2 回)
(4) 若手教育事業費	220,000	220,000	0	ETロボコン：消耗品、会場費、大会参加 費等
(5) その他事業費	150,000	150,000	0	他団体との共催に係る会場費、講師費等
2. 管理費	3,988,750	5,065,000	1,076,250	
(1) 事務委託費	2,868,750	3,245,000	376,250	事業収入の50%から定額に変更(25年度) 24年度実績(2945千円)から+300千円の値 上げ
(2) 会議費	120,000	120,000	0	交流会への講師・事務局参加費等
(3) 通信費	20,000	20,000	0	会員への郵送等
(4) 印刷費	10,000	10,000	0	チラシ印刷等
(5) その他費用	700,000	700,000	0	幹事会会場費、振込手数料等、事務局消費 税等
(6) Web管理運営費	50,000	650,000	600,000	サーバー維持管理費 クラウド年間費用600千円
(7) 総会	220,000	320,000	100,000	配信外部委託化
3. 固定資産等取得支出	0	450,000	450,000	
(1) 固定資産等取得支出 (有形/無形)	0	450,000	450,000	ホームページデータ移行費用200千円 クラウド化初期費用250千円
当期支出額計(C)	7,278,750	8,705,000	1,426,250	
当期収支差額(A) - (C)	▲ 1,541,250	▲ 2,967,000	▲ 1,425,750	
次期繰越収支差額(B) - (C)	4,417,002	2,579,894		次年度繰越

2026年度年会費改定（案）について

1. 理 由

車載組込みシステムフォーラムは社会経済情勢の変化にもかかわらず、設立以来、約17年にわたり会費額を据え置いてきた。しかし、昨今の急激な物価高騰のため、コストアップの吸収が難しい状況になってきた。2025年度には、システムの改修、事務委託費の値上げ等が予定されている。

安定的な運営費確保と諸事業の積極的な実施のため、2026年度より年会費の改定を実施する。

2. 内 容

一般会員・協賛会員 年会費を10万円（消費税別）とする。

以上

車載組込みシステムフォーラム 会則

第1章 総則 (名称)

(名称)

第1条 本会は、車載組込みシステムフォーラム (英語表記; Automotive Embedded System Industry Forum) と称する。

(目的)

第2条 本会は、自動車に搭載される組込みコンピューターシステム (以下、車載組込みシステムという)の開発技術に関する研究会活動を通じて、会員の技術向上をはかり、ひいては自動車分野の機械・情報・電子産業の発展に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 車載組込みシステム技術者のコミュニティ作りとその運営
- (2) 車載組込みシステム基盤技術の調査・情報発信に関する事業
- (3) 車載組込みシステムに関するセミナーの企画・開催
- (4) 車載組込みシステムに携わる若手技術者の育成
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(所在)

第4条 本会は、事務所を名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル 7F 公益財団法人中部科学技術センターに置く。

第2章 会員

(会員の構成)

第5条 会員は、一般会員、協賛会員、個人会員、学生会員、特別会員からなる。

一般会員は、団体として入会した会員をいう。

協賛会員は、本会の活動に賛同し入会した会員をいう。

個人会員は、個人として入会した会員をいう。

学生会員は、学生及びそれに準じる者とする。ただし企業に所属する社会人学生は除外する。

特別会員は、幹事の推薦書提出後、幹事会で承認、認定された者とする。

(入会)

第6条 入会は、別に定める車載組込みシステムフォーラムの入会申込書により事務局に申し込み、幹事会の承認を経て認められるものとする。

(会費)

- 第7条 会員は、会費を納めなければならない。
- 2 一般会員の年会費は、1企業につき10万円(消費税別)とする。
協賛会員の年会費は、1口年間10万円(消費税別)とする。
個人会員の年会費は、1人につき5千円(消費税別)とする。
学生会員の年会費は、1人につき3千円(消費税別)とする。
特別会員の年会費は、免除とする。
 - 3 一般会員および個人会員は入会に際し、入会金を納めなければならない。
一般会員の入会金は5万円(消費税別)とする。
個人会員の入会金は5千円(消費税別)とする。

(退会)

- 第8条 会員は、次の事由により退会する。
- (1) 退会の届け出
 - (2) 企業会員または個人会員にあっては、会費を滞納した場合
 - (3) 前各号に掲げるほか会員たる資格を喪失した場合

(除名)

- 第9条 会員が研究会の会則に反する行為ないしは研究会に不利益な行為を行った場合、幹事会において3分の2以上の同意をもって除名とすることができる。

第3章 役員

(役員)

- 第10条 本会の役員は、会長1名、副会長若干名、幹事20名以下、監事2名、事務局長1名とする。
- 2 会長、副会長、幹事、監事は、会員のなかから総会においてこれを選任する。
 - 3 会長は、本会を代表し、総会、幹事会を召集し、その議長となり、会務を総理する。
 - 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代理する。
 - 5 監事は、民法第59条に準じて監査する。
 - 6 事務局長は幹事会において選任し、本会の事務局を運営する。
 - 7 役員任期は1年とし、再任を妨げない。
 - 8 補欠のため、又は増員により就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
 - 9 役員は、任期満了又は辞任後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

第4章 会議

(会議の種類)

第11条 本会の会議は、総会及び幹事会とする。

(総会)

第12条 総会は、一般会員、協賛会員、個人会員、特別会員で構成する。

2 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

3 定期総会は、毎年1回開くものとする。

4 臨時総会は、幹事会において必要と認めるとき、もしくは会員の3分の1以上の求めにより開くものとする。

5 総会においては、この会則に別に規定するもののほか次の事項を決議する。

(1) 幹事会において総会に付議する必要があると認めた事項

(幹事会)

第13条 幹事会は役員および幹事会が必要と任命した会員をもって構成する。

2 幹事会は、この会則に別に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を決議する。

第5章 資産及び会計

(資産)

第14条 本会の資産は、次に掲げるものとする。

(1) 会費

(2) 事業収入

(3) 補助金、助成金

(4) その他収入

(資産管理)

第15条 本会の資産は、会長が幹事会の定める方法にしたがってこれを管理する。

(事業計画及び収支計画)

第16条 本会の事業計画書及び収支計画書は、会長が作成し、幹事会の議決を経て、総会にて承認されなければならない。

(事業報告及び収支決算)

第17条 本会の事業報告書及び収支決算書は、会長が作成し、監事の監査を経て、幹事会の議決を経て、総会にて承認されなければならない。

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

第6章 事務局

(事務局)

- 第19条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。
2 事務局の事務処理の方法は、会長が別に定める。

第7章 会則の変更と解散

(会則の変更)

- 第20条 本会則の変更は、幹事会において3分の2以上の同意をもって発議し、総会において出席した会員の2分の1以上の同意を得なければならない。

(会の解散)

- 第21条 本会は総会において出席した会員の2分の1以上の同意を得て解散できる。
2 解散するとき存する残余資産の処分については幹事会で定める。

第8章 雑則

(定めのない事項)

- 第22条 この会則に定めのない事項は、幹事会において別に定める。

(付則)

1. この会則は、2008年4月1日をもって発効する。
2. この改正会則は、2011年4月18日から施行する。
3. この改正会則は、2012年4月1日から施行する。
4. この改正会則は、2013年4月1日から施行する。
5. この改正会則は、2019年10月1日から施行する。
6. この改正会則は、2026年4月1日から施行する。